



チ-バくん



第2回がん対策審議会	資料5
令和5年3月14日(火)	

千葉県小児・AYA世代のがん患者等 の妊孕性温存療法研究促進事業について



令和5年3月



健康づくり支援課がん対策班





国は、令和4年3月23日に

「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法
研究促進事業実施要綱」の一部を改正した。

- ※ 改正により、**温存後生殖補助医療**が追加された。
- ※ 令和4年4月1日から施行



県においても、国の実施要綱の一部改正に基づき
令和5年1月10日に

「千葉県小児・AYA 世代のがん患者等の
妊孕性温存療法研究促進事業実施要綱」の一部を
改正した。(R4.4.1から適用)

- ※ R4.4.1以降に指定医療機関で実施した治療が助成対象



改正のポイント(温存後生殖補助医療の対象追加)

妊孕性温存療法

温存後生殖補助医療

①胚(受精卵)凍結



②未受精卵子凍結



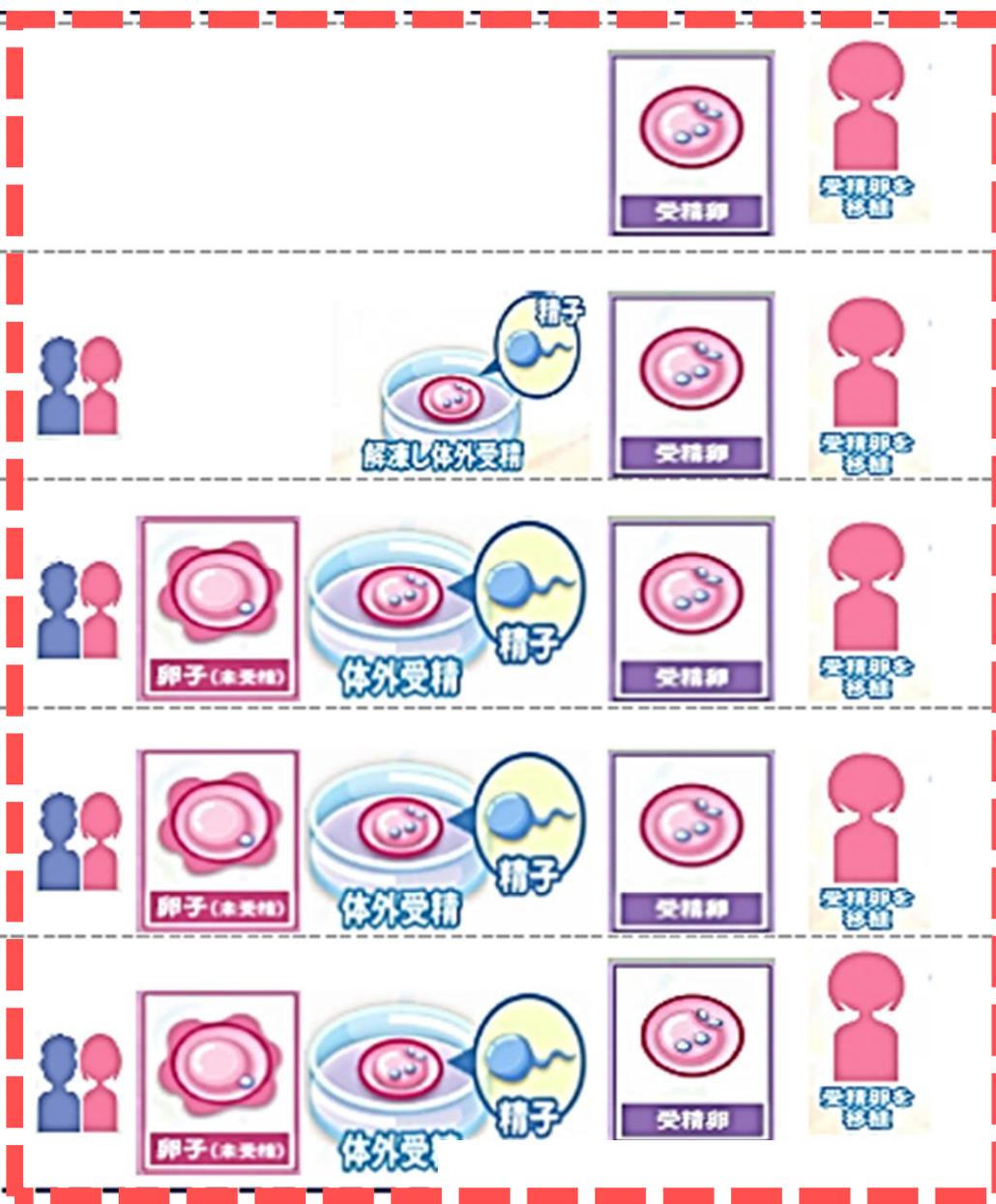
③卵巣組織凍結



④精子凍結



⑤精子凍結(精巣内精子採取術)



改正前の助成対象

改正後の助成対象



改正のポイント(温存後生殖補助医療の対象者)

事業の**対象者**は、以下の全ての条件に該当する者

申請時に千葉県内に住所を有する

New!

夫婦のいずれかが妊孕性温存療法後、凍結した検体を用いて**指定医療機関**において生殖補助医療を受けた者

New!

治療期間の初日における妻の年齢が**43歳未満**

New!

温存後生殖補助医療以外の治療法によっては妊娠の見込みがない又は極めて少ないと**医師に診断された者**

New!

婚姻関係が確認できる

本事業の研究に参加することに**同意**

対象の治療について**他制度の助成**を受けていない



改正のポイント(温存後生殖補助医療の助成内容)



事業の対象となる**温存後生殖補助医療**

対象となる治療	助成上限額
妊孕性温存療法で凍結した 胚（受精卵） を用いた生殖補助医療	10万円/回
妊孕性温存療法で凍結した 未受精卵子 を用いた生殖補助医療	25万円/回
妊孕性温存療法で凍結した 卵巣組織再移植後 の生殖補助医療	30万円/回
妊孕性温存療法で凍結した 精子 を用いた生殖補助医療	30万円/回



助成回数

治療期間初日の妻の年齢が40歳未満 → 通算**6回**まで

治療期間初日の妻の年齢が40歳以上 → 通算**3回**まで

※ ただし、助成後に出産した場合、妊娠12週以降に死産に至った場合は、これまで受けた助成をリセット



助成金の支給実績（R3年度）

R3年度（R3年12月～R4年3月申請分）支給実績

支給件数 39件

（単位：件）

胚（受精卵）	未受精卵子	卵巣組織	精子凍結	精巣内精子	計
16	19	0	4	0	39

支給人数 30名（女性27名、男性3名）

助成金は1人2件まで申請可能（1件申請：21名、2件申請：9名）

（単位：人）

胚（受精卵）	未受精卵子	卵巣組織	精子凍結	精巣内精子	計
14	13	0	3	0	30

支給総額 9,317,492円



助成金の支給実績（R4年度）

R4年度（R4年4月～R5年2月申請分）支給実績

支給件数 70件

（単位：件）

胚（受精卵）	未受精卵子	卵巣組織	精子凍結	精巣内精子	計
29	22	4	14	1	70

支給人数 57名（女性43名、男性14名）

助成金は1人2件まで申請可能（1件申請：44名、2件申請：13名）

（単位：人）

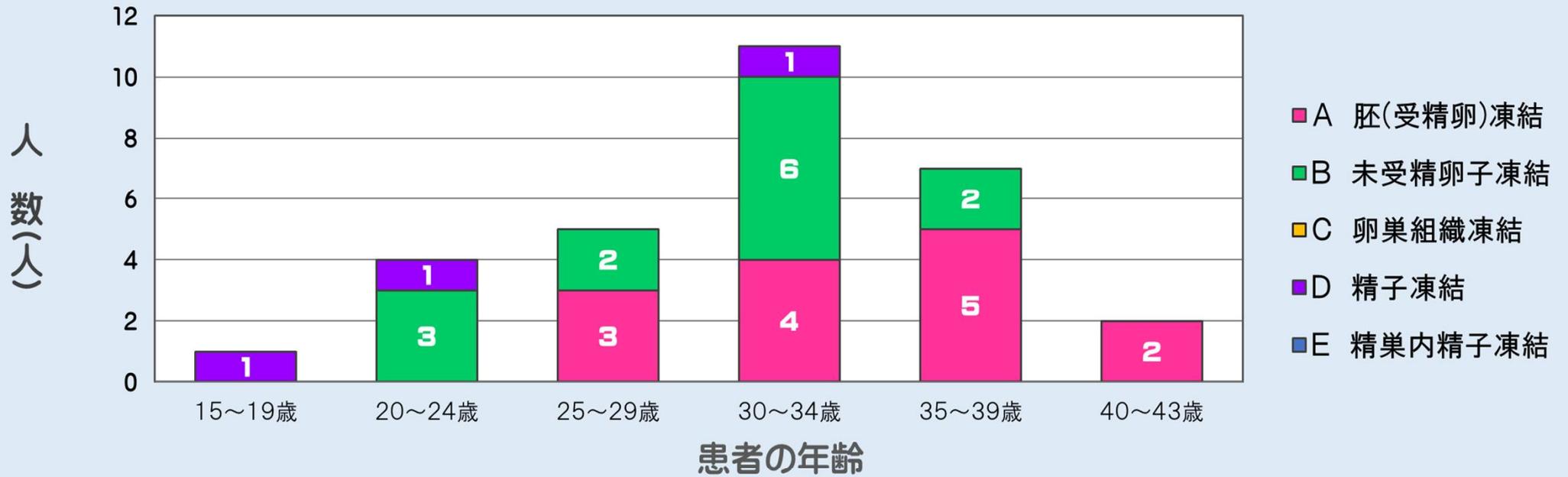
胚（受精卵）	未受精卵子	卵巣組織	精子凍結	精巣内精子	計
22	17	4	13	1	57

支給総額 16,512,464円

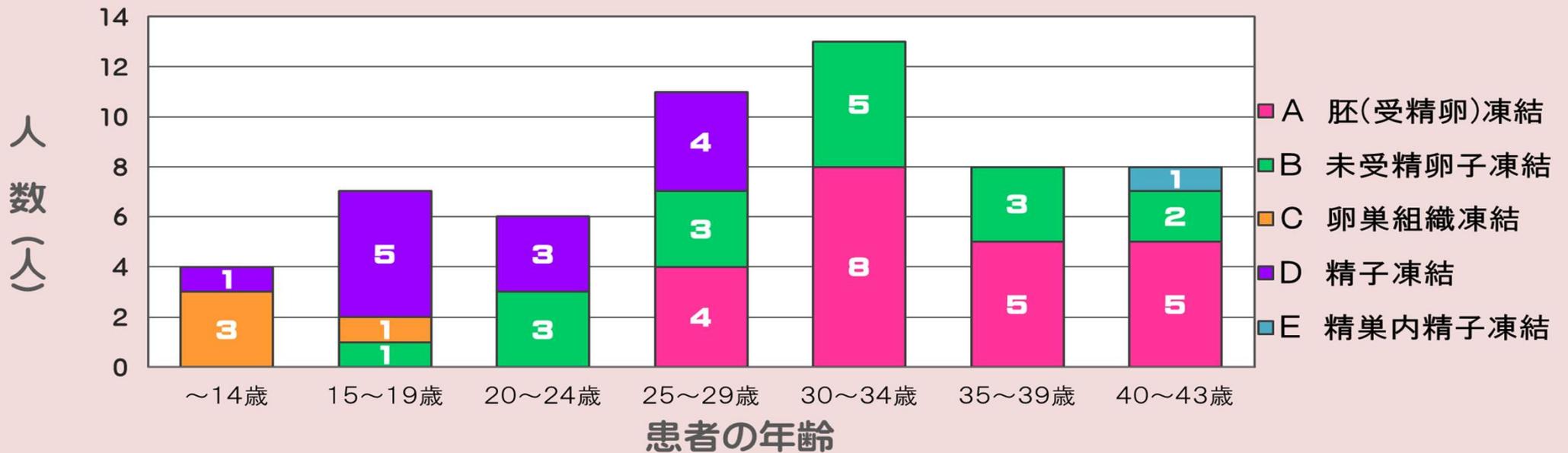


助成金申請者の傾向分析 ① 年齢構成

【R3年度支給分 患者30名の年齢構成】



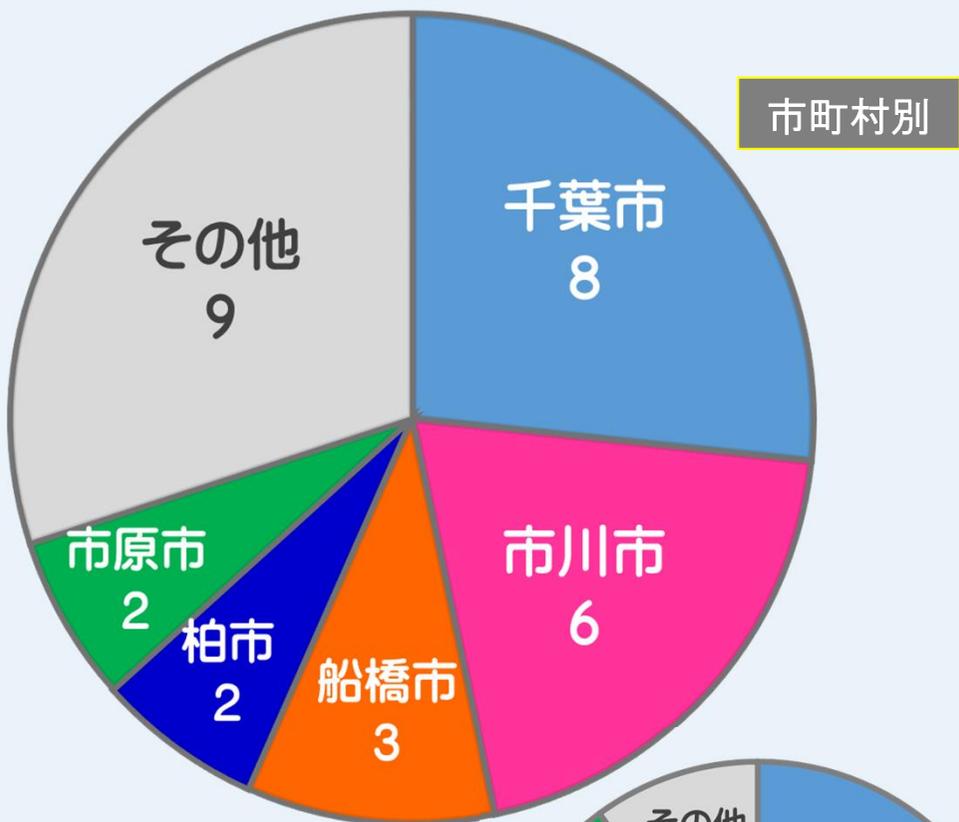
【R4年度支給分 患者57名の年齢構成】



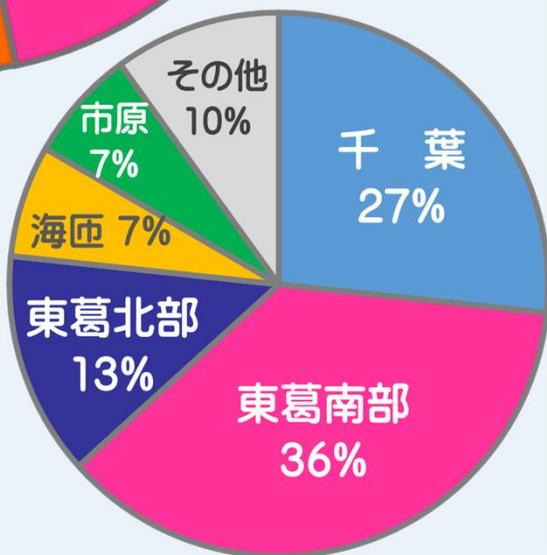


助成金申請者の傾向分析 ② 居住地

【R3年度 患者30名の居住地】

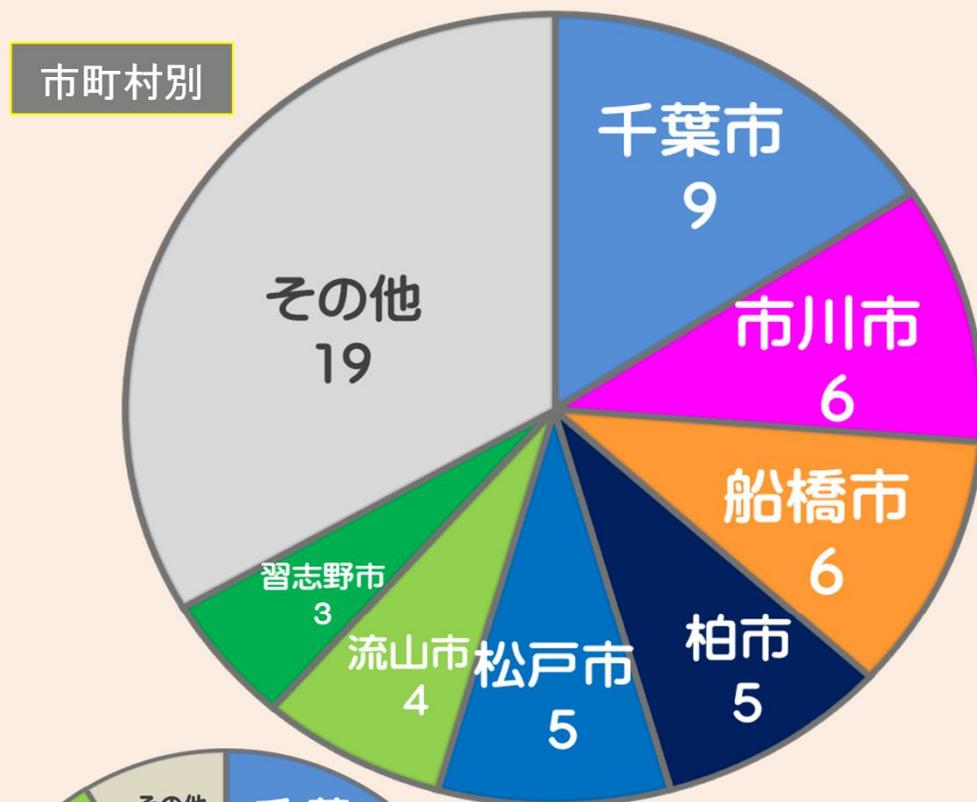


二次医療圏別

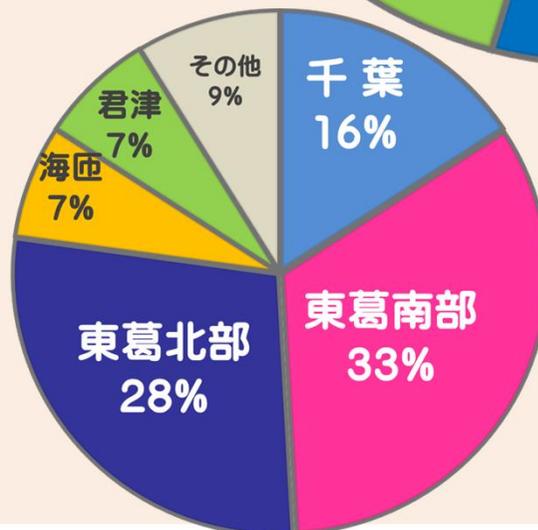


県北西部の3医療圏が77%を占めている

【R4年度 患者57名の居住地】



二次医療圏別

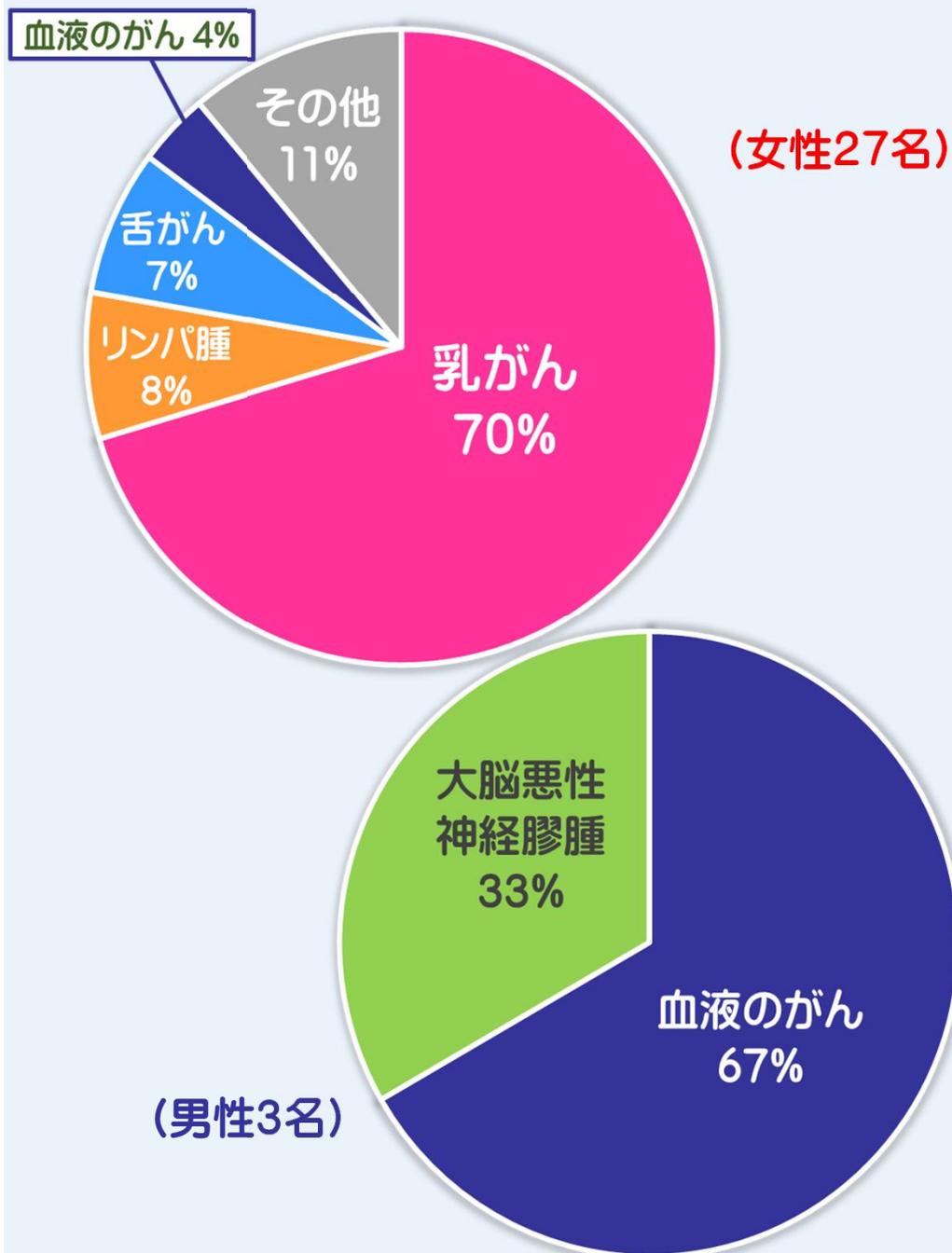


県北西部の3医療圏が77%を占めている

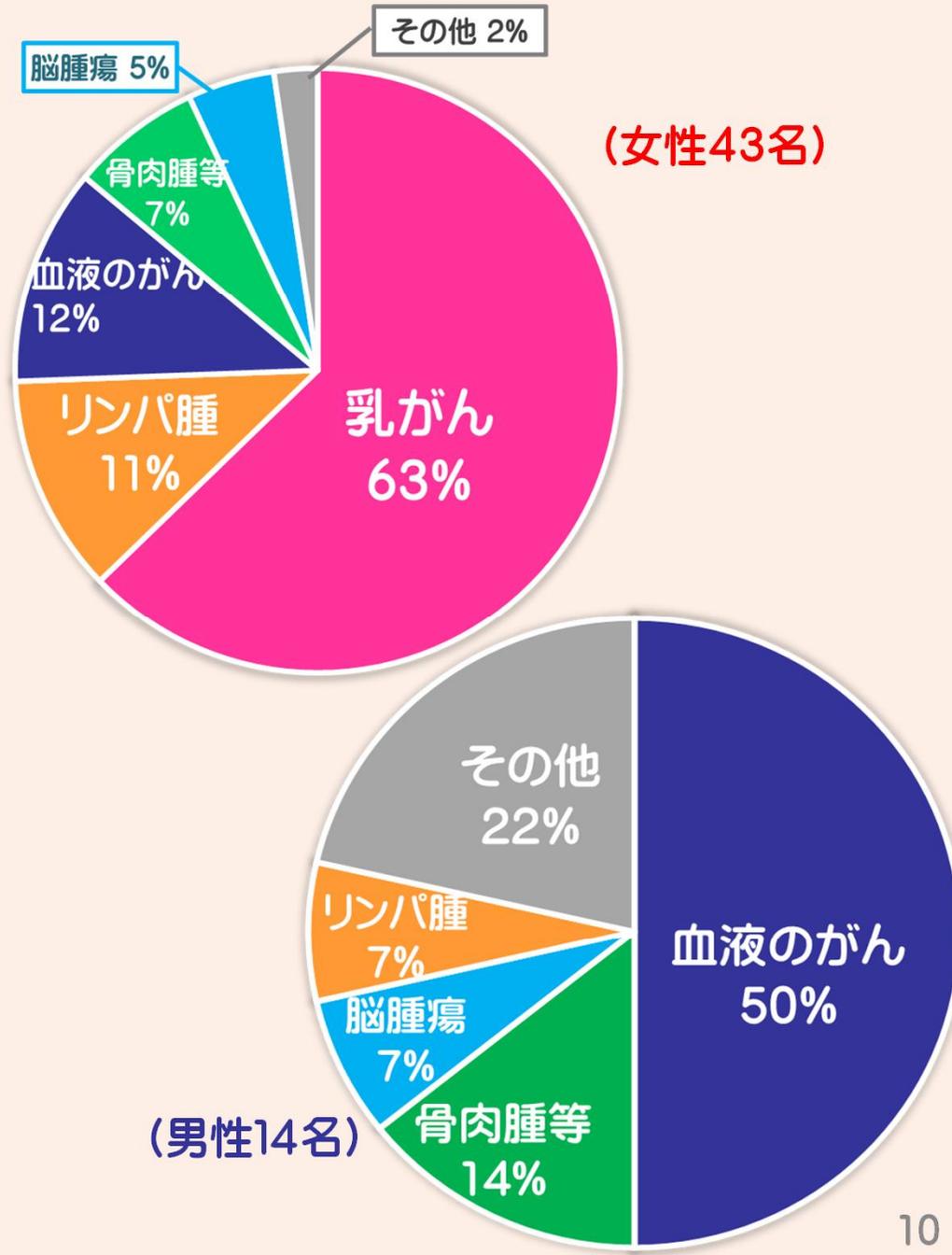


助成金申請者の傾向分析 ③ 原疾患

【R3年度 患者30名の原疾患】



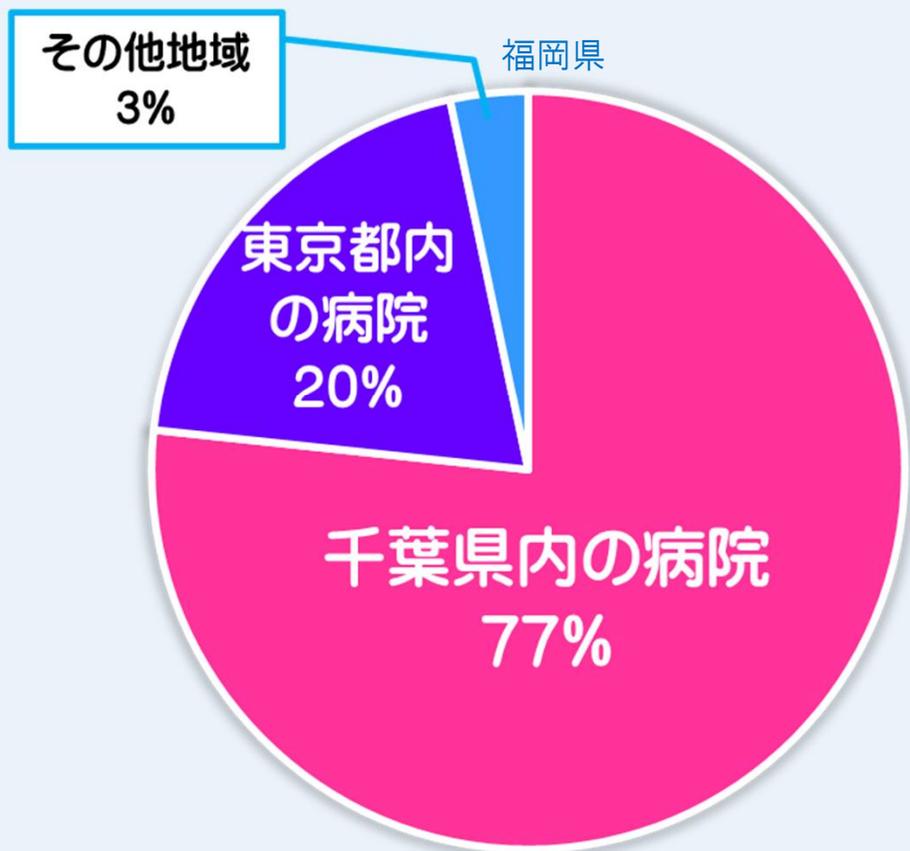
【R4年度 患者57名の原疾患】





助成金申請者の傾向分析 ④ 原疾患治療機関

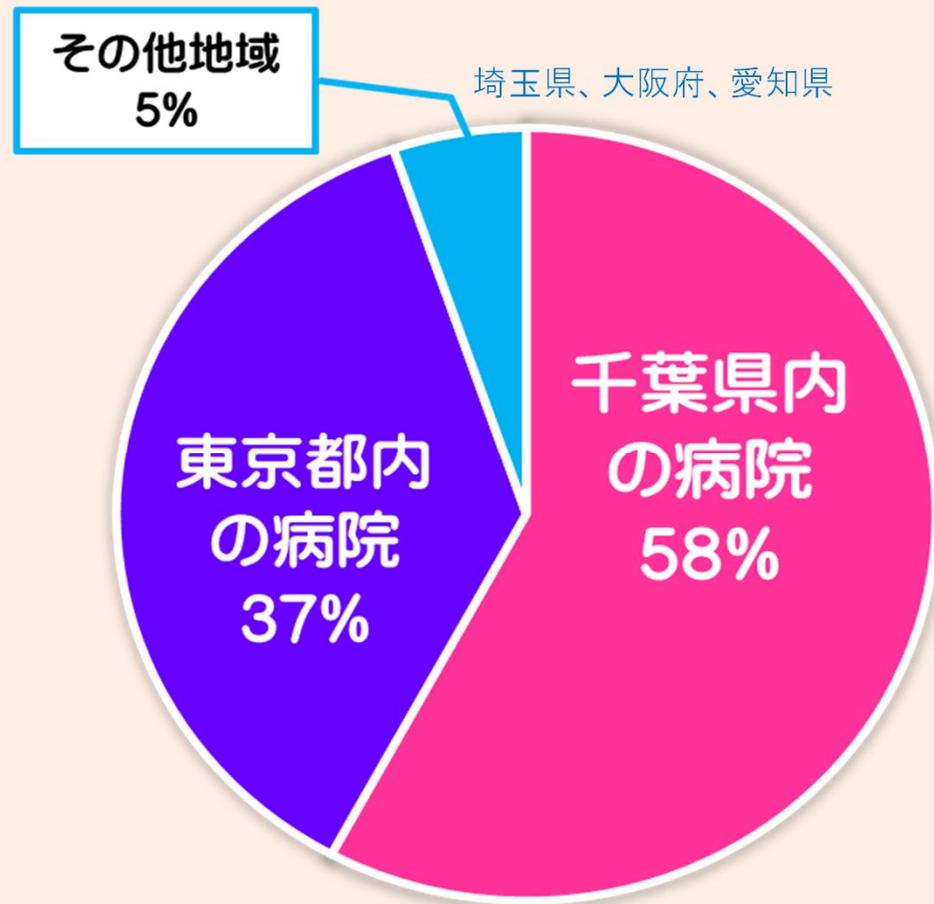
【R3年度 患者30名の 原疾患治療機関】



《主な原疾患治療機関》

- (県内) 千葉県がんセンター 6名
- (県内) 千葉大学医学部附属病院 3名
- (県内) 国立がん研究センター東病院 3名

【R4年度 患者57名の 原疾患治療機関】

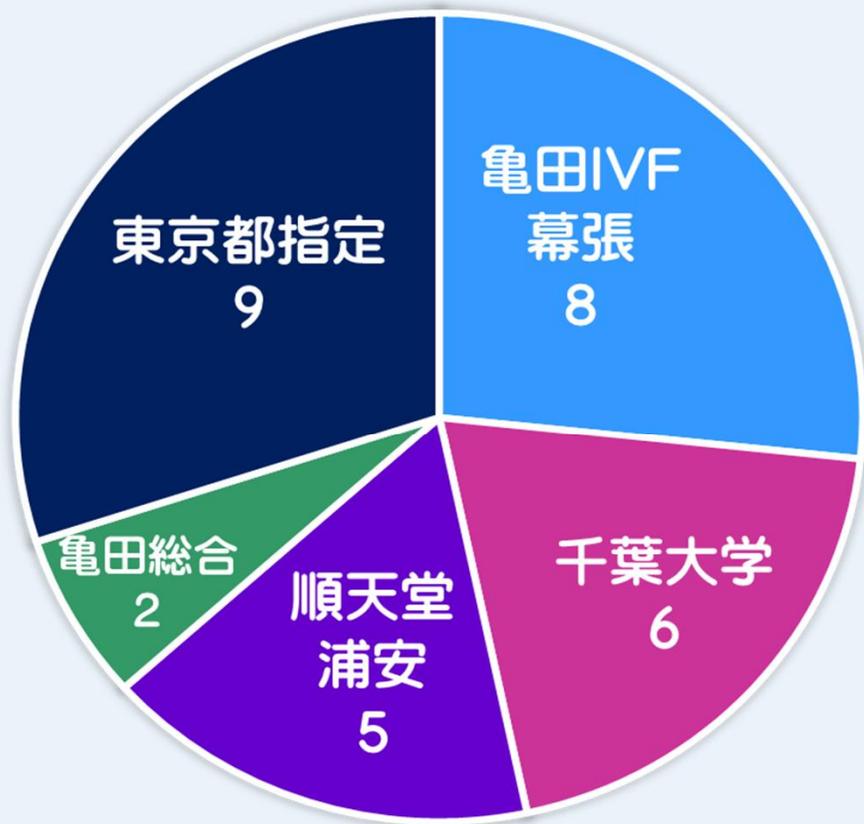


《主な原疾患治療機関》

- (県内) 国立がん研究センター東病院 6名
- (県内) 亀田総合病院 6名
- (県内) 千葉大学医学部附属病院 6名
- (東京) 東京慈恵会医科大学附属病院 5名



【R3年度 患者30名の指定機関】

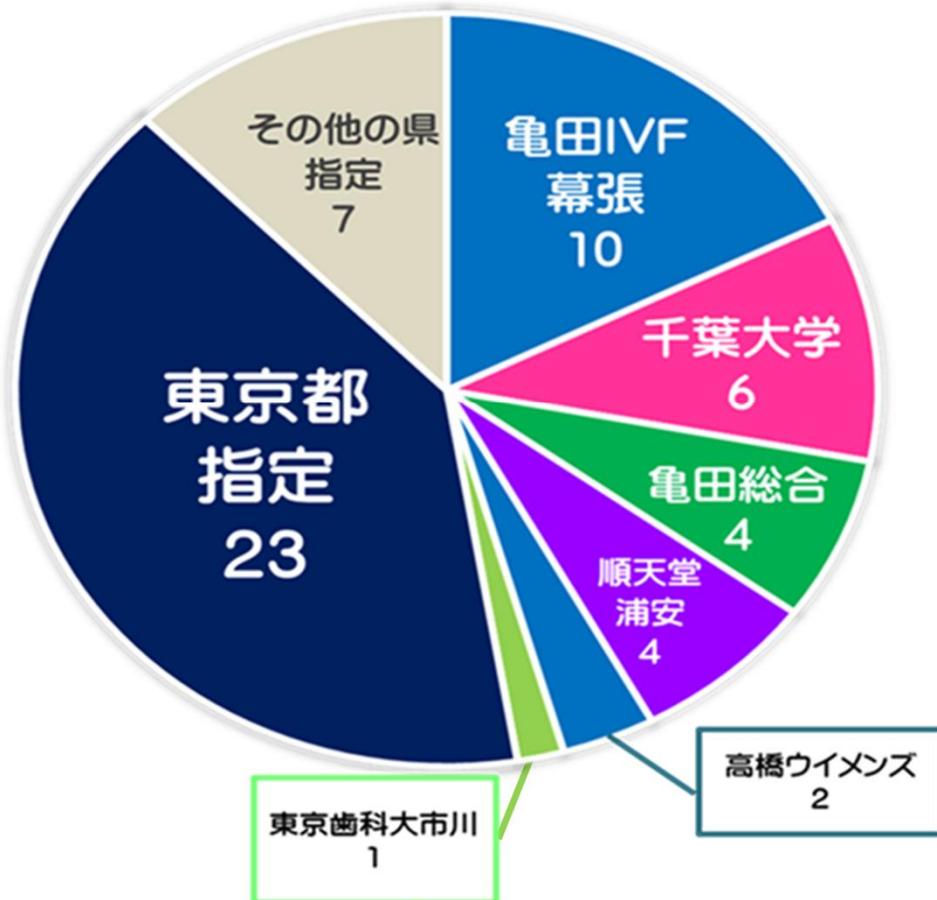


《東京都の主な指定機関》

東京慈恵会医科大学病院 3名

【R4年度 患者57名の指定機関】

埼玉県・神奈川県・愛知県



《東京都の主な指定機関》

東京慈恵会医科大学病院 11名

東京医科歯科大学病院 4名